



The University of Goroka Information and Communication Technology (ICT) Department

日本パプアニューギニア協会会員のみなさまへ

デニス テイラー ベベゴ 元駐日パプアニューギニア公使、葬儀参列のご報告

東ハイランド州、ゴロカにある国立ゴロカ大学で ICT マネージャをしております、ゴロカ支部の原田です。

この度の急な訃報に際し、日本パプアニューギニア協会を代表いたしまして、ベベゴさんの葬儀に参列し、献花して参りました。葬儀のご報告を致します。

ベベゴさんがお亡くなりになられたのは、安倍首相の PNG 訪問直前にあたる、7月5日のことでした。葬儀は7月18日に、ポートモレスビー、東ボロコにある聖マーティンス、アングリカン教会で執り行われました。

牧師さんのお祈りの後、厳かに行われた葬儀ですが、ベベゴさんご出身のオロ州、州知事を始め、各国外交官、元の職場である外務省からも多くの方々が参列され、ご生前のお人柄の一端を窺い知ることが出来ました。

前駐日大使のマウエさんご夫妻、現駐日大使のデュサバさんご夫妻も参列されておりました。

ベベゴさんには3人のお子さんが残され、長男のシェーンさん、長女のキンバリー、次男のジョナサン（ご夫人は2000年に亡くなられたとのことでした）も参列していました。

次男のジョナサンにより、生前のベベゴさんの履歴が語られました。地元オロ州のポポンデッタ高校を卒業後、パプアニューギニア大学に進学した後、外務省に入省し、豪州ブリスベンなどでの勤務を経て、英国オックスフォード大学へ留学され、フランスパリなどの勤務を経て、2007年から2013年の長きに渡って、東京のパプアニューギニア大使館で公使を勤められたことが紹介されました。

また、現駐日大使のデュサバさんからも弔辞があり、特に大使をサポートし、新しい大使館の建設や、LNG（石油天然ガス）、マグロ等の水産資源の日本との取引に多大なる貢献があったことが紹介されていました。

葬儀は3時間ほどで終了し、最後に協会を代表してお悔やみを家族の方々に述べ、献花をさせていただきました。

また、後日、ご自宅を訪問し、日本との関係が大変深かったことに謝意を表明すると共に、ご遺体を埋葬されるポポンデッタに日章旗を持って行って頂きたい旨をお伝えし、個人的に持っていた新品の日章旗を手渡しました。

その後、無事にご遺体の埋葬が7月22日に行われたと連絡がありました。

今回、ベベゴさんが亡くなられた事は、日本、パプアニューギニアの両国にとって、大変な損失でしたが、これを機により一層、両国の関係が深まるように微力ながらお手伝いをさせていただけたらと改めて感じた次第です。

簡単ですが、葬儀の報告とさせていただきます。今後ともご指導、ご鞭撻をよろしく願いいたします。

日本・パプアニューギニア協会 ゴロカ支部 Russell Deka 原田



The University of Goroka
Information and Communication Technology
(ICT) Department



教会の銘版



教会内の様子



外交官等も参列



多数の献花



The University of Goroka
Information and Communication Technology
(ICT) Department



弔辞を読まれるデュサバ大使

黙祷されるデュサバ大使
(左端は州知事)



安らかに
お休み
ください



長女のキンバリーさん